

2004 年度採集観察会

1. 期 日： 第 1 回 5 月 16 日 (日) 第 2 回 7 月 11 日 (日)
第 3 回 10 月 17 日 (日) 第 4 回 2 月 13 日 (日)
2. 場 所： 秩父多摩甲斐国立公園 御岳渓谷 (東京都青梅市)
3. 集 合： JR 御嶽駅に 10:30 頃
4. 世話人： 初芝伸吾, 甲野 涼
5. 問合先： 東京都国立市東 3-11-18-203 エコシス内 初芝・甲野
Tel: 042-501-2651 E-mail: hatsushiba-ecosys@h8.dion.ne.jp
6. 交 通： JR 御嶽駅まで新宿から 1 時間 45 分, 立川から 55 分かかります。
ダイヤ改正がありますので, 時刻は各自ご確認ください。

(参考) 2004.3 月現在

JR 立川発 9 時 15 分 ホリデー快速おくたま・あきかわ号
(前 6 両に乗車, 後ろは五日市行きに切り離されます)
JR 立川発 9 時 34 分青梅行き,
終点青梅で奥多摩行きに乗り換え, 御嶽駅で下車

7. その他

- ・遅れる方は 090-9370-4950 (甲野) までご連絡下さい。
- ・集合場所の JR 御嶽駅から採集場所は徒歩 5 分ほどです。
- ・JR 御嶽駅周辺ではお弁当を買えませんので, 昼食はご持参下さい。

東京蜘蛛談話会 2004 年度合宿について

東京蜘蛛談話会 2004 年合宿は, 7 月 24 日 (土) ~ 26 日 (月) に, 山梨県増穂町櫛形山山麓と市川大門町付近で行ないます。主な観察地として赤石温泉周辺と平林地区と、市川大門周辺の丘陵地を考えています。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

計画の詳細と申し込みについては p.12 をご覧ください

2004 年度総会・例会

2004 年 4 月 18 日 (日) 東京環境工科専門学校にて

1. 開式 司会・初芝伸吾

2. 自己紹介

中島晴子：昨日出来たばかりの楽譜集『ピアノのためのポエジー クモの糸のはしご』（全音楽譜出版社、1200 円）を紹介。子供も弾けて大人も楽しめる全 9 曲を作曲。表紙やイラストは小澤實樹さん。

小澤實樹：中島さんの楽譜集の「灰色の大鹿」のイラストは今年の北海道・然別湖のイメージ。

梅林 力：走査電子顕微鏡でクモの微細構造を観察。

池田博明：今年、丹沢大山総合調査を責任者として引き受けることに。

水山栄子：昨日、『里山のクモ』（写真・伴満，解説・水山・川崎市青少年科学館）発刊された。頒価 700 円。

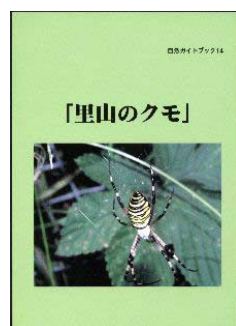
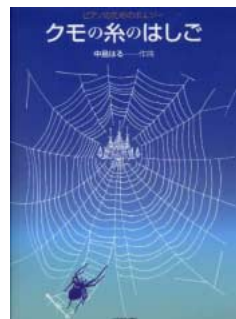
佐藤幸子：クモの網の和服で参加。

谷川明男：研究加速中。

貞元己良：ミヤシタイソウロウグモは記載以前に結構採集されていた。最近採れ始めたクモにフタホシヒメグモやヤマトヤギヌマグモがある。

新海 明：その目で探す結構見つかるクモがある，ユアギグモなど。萱嶋先生への寄せ書きを依頼。萱嶋先生は多摩モノレール線「柴崎体育館」下車，「桜湯園」に入居。

東京環境工科の学生：柴田 司，鈴木喜晴，国枝 愛，後藤久美子



参加者一同

徳本 洋：スズミグモが能登半島の付け根で発見された（斎藤慎一郎さんによる）、マルゴミグモも金沢市で発見された。

小峰光弘：フィールドへ出る機会減。小学3年生に土壤動物の講話をした。

新海栄一：国分寺市市議会議員で多忙。文一総合出版社から図鑑を発刊する準備中。

小川智行・小川春雄：智行は高校一年生で木更津の寮から参加。春雄は父。

初芝伸吾・拓馬：最近クモの写真を撮影，拓馬は小学校一年生。

八幡明彦：涅槃図のクモを調査中。コガネグモ3匹を飼育し今年もクモ合戦へ。

甲野 涼・愛沙：海洋環境保全活動中。愛沙は4歳。

高津素夢：環境工科を卒業。

加藤輝代子：市川市のクモ調査報告でクモの生息環境別に分類を試みた。

井出和美：クモグッズに興味がある。しかし最近はでものが少ない。

新村 誠：間伐に多忙。冬の自然観察にクモは適する。

今井正巳：寸暇を見つけて観察をしたい。

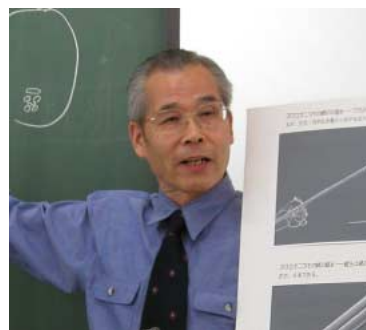
自己紹介後の参加者 永井亜紀，笠原喜久雄，安田明雄，加藤むつみ，吉井 力，笹岡文雄。

3. 講演

(1) 電子顕微鏡で見たクモの微細構造 梅林 力

10:55~11:25

クモの糸，出糸突起，脚先など写真を紹介。カタハリウズグモは卵のうに過剰に糸を巻きつけていた。その糸は1本の構造であり篩板糸ではない。セスジガケジグモの雄の肢には毛櫛がない。前疣に2対の出糸突起があるクモでは糸は4本同時に出されることがある（世界初の実見？）



(2) 石川県におけるゴミグモ属の分布・試行的分布表示法

徳本 洋 11:35~12:05

地域間のファウナ比較に役立つ分布表示法を検討し，5km 毎のメッシュ上に表すのが適当と判断されたので，ゴミグモ属で試みた。

(3) 丹沢大山総合調査について 池田博明

12:05~12:35

神奈川県今年度からの事業として丹沢大山の自然の保全再生事業が始まり，生き物再生チームにクモも加えられた。その計画の概要を説明。



昼食 12:35~13:10

総会 13:10~13:55

(3) オニグモのしおり糸の研究 小川智行

13:55~14:15

オニグモの体重別に(大形・中形・小形)出すしおり糸の性質を調査した。採取した糸の端にはセロテープで1gの重り(方眼紙を利用)を下げて長さを標準化した。オニグモのしおり糸は体重の5.4倍まで耐えられると思われた。ただし、採取した試料がしおり糸だけなのかどうか。



(4) アシプトヒメグモの生活史に関する一考察 谷川明男

14:15~14:45



神奈川県立七里ガ浜高校内の生垣で毎朝、成体雌、雄、卵のう保持雌の頭数を調査。3年間の調査の結果、本種は2化性(6月と9月のふた山になる)であることがわかった。ややオスが早く出現する。1メス当りの卵のう数は2~3個と思われた。

(5) クモ相と環境のクラスター分析の試み 八幡明彦

15:05~15:35

千葉県流山市の市野谷の森でクモの観点から環境を評価する試みとして多因子分析のひとつであるクラスター分析を試みた。生息環境は湿潤か乾燥か、林縁か藪か草原か、開放空間か閉鎖空間かによって分けた。結構使える可能性がありそうだ。



(6) 積雪上で採集されたクモ 新海 明

15:40~16:05

薄葉重氏および金野晋氏採集の積雪上で採集されたクモを整理した。309頭中、58%がサラグモ科でその多くはヤガスリサラグモ雌雄成体だった。次いでヤマヤチグモ11頭。いったい何を目的にクモは雪上で活動しているのか不思議だ。

閉会 記念撮影

懇親会 16:15~18:15

東京蜘蛛談話会の会費は、一般3800円、学生2000円です。

郵便振替口座 00170-8-74885 東京蜘蛛談話会へお願いします。

2003 年度 東京蜘蛛談話会総会 議事録

日 時：2004 年 4 月 18 日（日） 13:10～13:40

場 所：東京都渋谷区 東京環境工科専門学校

配付資料：総会資料，2003 年度決算（案），2004 年度予算（案）

出席者：事務局でリスト保存

議 事：

1. 議長選出

会員の拍手をもって梅林力氏が議長に選出された。

2. 2003 年度活動報告

- 1) 事務局に関する報告は初芝によってなされた（紹介リーフレットによる普及啓発）。
- 2) 合宿に関する報告は甲野によってなされた（北海道糠平において 8 月 20 日～22 日に開催）。
- 3) 観察会に関する報告は谷川によってなされた（さいたま緑の森博物館にて 4 回開催）。
- 4) 通信に関する報告は谷川によってなされた（昨年度からオンライン通信をはじめた）。
- 5) 会誌に関する報告は池田によってなされた（KISHIDAIA84 号，85 号を出版）。
- 6) 決算に関する報告は安田によってなされた。会計監査報告が笠原によってされた。
会員の拍手をもって 2003 年度決算報告（案）は 2003 年度決算として承認された。
以上の 2003 年度活動報告は会員の拍手をもって承認された。

3. 2004 年度活動計画

- 1) 事務局に関する活動計画は初芝によって報告された（今年度も普及啓発を進める）。
- 2) 観察会に関する活動計画は初芝によって報告された（東京都御岳溪谷にて 4 回開催）。
- 3) 合宿に関する活動計画は新海によって報告された。
（7 月 24 日（土）～26 日（月）山梨県南巨摩郡増穂町櫛形山付近で開催）。
- 4) 通信に関する活動計画は谷川によって報告された（3 回発行予定，初回は連休明けに発送予定）
- 5) 会誌に関する活動計画は池田によって報告された（KISHIDAIA86 号，87 号出版）。
- 6) 2004 年度予算報告が安田によって報告され，会員の拍手をもって 2004 年度予算として承認された。
- 7) その他の議案

池田より丹沢大山学術総合調査に関して説明があり，東京蜘蛛談話会として調査チームに入
ることを承認していただき協力体制を取りながら進めていきたいとの提案があった。

以上の 2004 年度の活動計画は会員の拍手をもって承認された。

4. 議長解任

議長の解任がされた。

5. 閉会

注意：すべて敬称省略。 文責 甲野

談話会通信次号の原稿締め切りは 2004 年 8 月末日です。ご投稿お待ちしております。

投稿先：247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷 1-4-2-1416 谷川明男

2003 年度決算

収入の部

項 目	予算額	決算額	増 減	備 考
1.03 年度納入会費	282,400	637,200	354,800	欄外 1
(1)03 年度分として	282,400	309,000	26,600	
(2)04 年度以降前納分として	0	328,200	328,200	
2.寄付等	0	0	0	
3.雑収入	0	0	0	
4.別刷り代	30,000	47,020	17,020	
5.利息	4,500	3,576	-924	
収入合計	316,900	687,796	370,896	
6.繰越金	1,498,661	1,498,661	0	
(1)03 年度以降前納会費	609,600	609,600	0	
a.03 年度分	445,000	445,000	0	
b.04 年度分	119,200	119,200	0	
c.05 年度分	27,400	27,400	0	
d.06 年度分	14,200	14,200	0	
e.07 年度分	3,800	3,800	0	
f.08 年度分	0	0	0	
(2)特別会計（プール金）	889,061		0	
預け先：郵便貯金（普通）	1,185,268	889,061		
（定額）	231,704			
振替口座	64,600			
現金	17,089			
合計	1,815,561	2,186,457	370,896	

支出の部

項 目	予算額	決算額	差 引	備 考
1.会誌作成	500,000	580,650	80,650	
2.会誌発送	107,460	98,980	-8,480	
3.別刷り作成・発送	30,000	54,480	24,480	
4.談話会通信	90,000	96,960	6,960	
5.事務局等通信費	45,000	39,545	-5,455	
6.事務用品等	15,000	11,595	-3,405	
7.予備費	30,000	0	-30,000	
支出合計	817,460	882,210	64,750	
8.繰越金	998,101	1,304,247	306,146	
(1)04 年度以降の前納会費	164,600	492,800	328,200	
a.04 年度分	119,200	390,400	271,200	
b.05 年度分	27,400	61,600	34,200	
c.06 年度分	14,200	25,600	11,400	
d.07 年度分	3,800	11,400	7,600	
e.08 年度分	0	3,800	3,800	
(2)特別会計（プール金）	833,501	811,447	-22,054	満期（2月8日）
預け先：郵便貯金（普通）		559,548		
（定額）		0		
振替口座		715,220		
現金		29,479		
合計	1,815,561	2,186,457	370,896	

欄外 1：03 年度会費は、前納分とあわせて 754,000 円受領

以上相違ありません。2004 年 4 月 18 日 会計 安田明雄 会計監査 笠原喜久雄

2004 年度予算

収入の部

項 目	金 額	備 考
1. 04 年度納入会費	333,200	
(1)04 年度分として	333,200	前納会費とあわせて 727,400 円 欄外 1
(2)05 年度以降前納分として	0	
2. 寄付	0	
3. 雑収入	0	
4. 別刷り代	30,000	
5. 利息	20	
収入合計	363,220	
6. 繰越金	1,304,247	
(1)04 年度以降の前納会費	492,800	
a. 04 年度分	390,400	
b. 05 年度分	61,600	
c. 06 年度分	25,600	
d. 07 年度分	11,400	
e. 08 年度分	3,800	
(2)特別会計（プール金）	811,447	
預け先：郵便貯金（普通）	559,548	
（定額）	0	
振替口座	715,220	
現金	29,479	
合計	1,667,467	

支出の部

項 目	金 額	備 考
1. 会誌作成	550,000	275,000 円×2 回（86, 87 号）
2. 会誌発送	106,920	270 円×198 人×2 回
3. 別刷り作成・発送	30,000	
4. 談話会通信	90,000	30,000 円×3 回（111,112,113 号）
5. 事務費・通信費	45,000	
6. 事務用品等	12,000	欄外 2
7. 予備費	0	
支出合計	833,920	
8. 繰越金	833,547	
(1)05 年度以降の前納会費	98,600	
a. 05 年度分	61,600	
b. 06 年度分	25,600	
c. 07 年度分	11,400	
d. 08 年度分	3,800	
(2)特別会計（プール金）	734,947	
合計	1,667,467	

欄外 1：3,800 円×182 人+2,000 円×16 人-390,400 円（前納）=333,200 円

欄外 2：事務局 5,000 円，編集 5,000 円×3 人，通信 6,500 円，会計 5,000 円
通信費等 13,500 円

2003 年度会員動向

2003 年 4 月 1 日時点の会員数 199 名

入会 8 名，退会 9 名（希望 6 名，逝去 1 名，規約 2 名）

2004 年 4 月 1 日現在の会員数 198 名（一般 182 名，学生 16 名）

ハワイ産のプローチグモ属の 2 新種

新 海 明

ガンググモ亜目 Omoshiromorphae の記載を続けている . 今回はハワイからもたらされたソウシヨクグモ科 Kazarutoyoidae プローチグモ属 Broachia の美しい 2 種について報告する .

Omoshiromorphae ガンググモ亜目

Kazarutoyoidae ソウシヨクグモ科

Broachia danippoides n. sp.

ナントモダニグモ

図 1

採集地はハワイのオアフ島のとあるお土産売場とのこと . 「海外」旅行には沖縄と江の島 (それも昨年 2 月にやっとの思いで実現した) しか行ったことがない私が , ハワイやらアメリカ産のガンググモ亜目のクモをたびたび入手できるのは秘密特別調査員のおかげである . 機密費 (わが国では「餞別」ともいうが) を渡しておくで世界各地からさまざまなガンググモ亜目のクモを手に入れることができる . でも , 機密費を渡し忘れることの方が多いので , これを読んだ秘密調査員には文句を言われそうである .

体長は 17mm で頭胸部幅は 8mm だった . 体色は全体茶褐色だが , 体の周囲には白っぽい

金属光沢をもつ縁取りがみられ , ここから同色の歩脚が出ていた . 一見するとダニのような印象があったのが種小名の由来である . また , この亜目によくみられる特徴だが , 頭胸部と腹部の境は判然とせず , 歩脚も頭胸部から 2 対 , 腹部から 2 対ずつ出ていた . 触肢が 1 対きちんとそえられていたのには感心したが , その脇に 1 対の眼が飛び出していたのは残念だった .

体の下面にはプローチグモ属に特に顕著にみられる特徴である , ピンでできた止め金が見られた . ただし , 最近になって発見されるこの属のピンには大変に大きな進歩がみられる . それは , ピンの先が露出しないように配慮されていることである . 昔はこの属のクモを不用意に採集すると下面にあるピンの先端に触れて , 思



図 1. ナントモダニグモ

わぬ怪我をすることがあったが、最近になって採集されるクモにはこのような危険性が無いのが普通である。知り合いの女性に尋ねると「最近のブローチの止め金は皆こうなっているのよ」だそうである。

和名は、新疣亜目に存在するナルトミダニグモにちなみ、「なんともダニグモに似ているな」という感想から名付けられたものである。

Broachia kumoppoides n. sp.

ニジイロクモガタ

図 2

採集地は前種と同じである。

体長は 25mm で、頭胸部幅は 6mm だった。前種とは異なり、頭胸部と腹部の境は判然としていた。また、この亜目に属すクモの特徴でもあるのだが、クモかどうか迷うものが多い中で、このクモはひと目でクモと判るものだった。歩脚の 8 本が正しく頭胸部に配置され、触肢も 1 対そなえられていた。ただ、頭胸部をよくみると「くびれ」があり、体全体が頭部・胸部・腹部にわかれているようにも見えた。

この種類の最大の特徴はその色彩にある。頭胸部はダイヤモンドのように見え、腹部は金色に輝いていた。さらに、歩脚の 1 本ごとにダイヤモンドがはめこまれていた。歩脚の付け根「たい節」付近には長さ 5mm、幅 1mm 程度の直方体のものが、その先の「けい節」付近には直径 1mm 程度のものが 3 個ずつはめこまれていた。これらが、すべて本物のダ



イヤだとすれば、世界各地で乱獲が始まり、このクモは絶滅の危機に陥ってしまったであろう。けれども、幸か不幸かすべてガラスでできていたことから、絶滅からは逃れられそうである。また、腹部の金色に輝く部分も詳しく観察すると、ガラスの中に金箔を埋め込んだものであるようだ。

前種と同様に腹部の下面には安全ピンが取り付けられていた。

和名の由来は、美しい甲虫として名高いニジイロクワガタにちなんだものである。

図 2.ニジイロクモガタ

丹沢大山総合調査の案内は次のページにて刻々と案内致します。

<http://homepage3.nifty.com/~hispider/tokyoss/tanzawaspiders.htm>

丹沢大山総合調査 生き物再生チーム クモ・グループ リーダー 池田博明

書評 池田博明編「クモの巣と網の不思議 - 多様な網とクモの面白い生活」

吉 田 真

池田さんに送ってもらったこの本を、面白くて、一気に読んでしまった。宮下直さんは、「アマチュアが書いた最高の本」とこの本を評した。そういう言い方も出来るかもしれないが、僕はむしろ、「とんでもない人たちが書いたとんでもない本」と呼ぼう。3人ともに、世間の常識からはかれば、「とんでもない変人」であるからだ。

この本を書いた池田さん・新海明さん・谷川さんを「アマチュア」と呼ぶのには、僕はいささか抵抗を感じる。大学や研究所などのいわゆる研究職についていないという意味では3人ともに「アマチュア」ではある。しかし彼らは、ある意味では「プロ」を凌ぐ刺激的な「アマチュア」たちである！

池田さんが「広範な話題を要領よくまとめる特異な才能を持っている」という宮下さんの評は、言い得て妙である。この本を読めば、彼がクモに関する非常に広い話題に通じていることがよく分かる。そしてその「特異な才能」は、彼の超人的な「努力」に裏付けられている。「お父さんは家ではたいがいクモの勉強をしている」と、彼の娘（たぶん泉ちゃんだったと思うが）に聞いたことがある。その通りだろう。高校教諭を務めながら、クモのトピックスに精通しようと思えば、プライベートな時間のほとんどをそれに費やさなければならないからだ。その馬力と根性には頭が下がる。

馬力と根性という点では池田さんと甲乙付け難いが、新海さんはまた全然違うタイプである。「偏執狂的オタク」と言ったら、新海さんに失礼だろうか？ 網の張り方など先人たちの書いたものを鵜呑みにしないという点では、新海さんは3人の中で飛びぬけている。信じ込まずに自分の目で確かめることの大事さが、この本のあちこちに散りばめられている。この点が、この本を非常にユニークな（ほかに例がないと言った方がいいかもしれないが）ものにしてている。これから研究をはじめめる若い人たちには、新海さんの姿勢をぜひ参考にしてもらいたいと思うのだが、僕はむしろ「そこまでやらないといけないか」と思って、若者たちが初めからめげてしまわぬかという、あらぬ心配をしてしまった。新海さん、初心者にはお手柔らかにね！

谷川さんはクモの分類が専門だから書いた文章は少ないが、コオニグモモドキの捕食行動など、なかなか面白い。しかし、昔はクモの生態などにほとんど関心がなかった人だ（失礼！）から、「彼も変わったな」と僕は思う。池田さん・新海さん・宮下さんなどの影響だろう。毎月一緒に酒を飲んでいれば、変わらないほうが不思議か？ 谷川さんの写真の素晴らしさは、いまさら私が指摘する必要もあるまい。

船曳さんの「網の標本」は、本に掲載されるのはたしか初めてではないか？ カラーでないのが残念だが、これはまさしく「網の標本」であり、網の構造がその細部まで非常によく分かる。「網の標本」は、網構造の研究に新たな地平を開くものである。

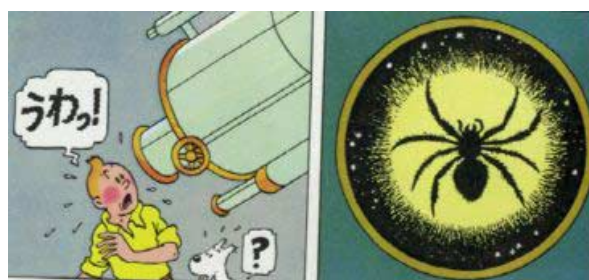
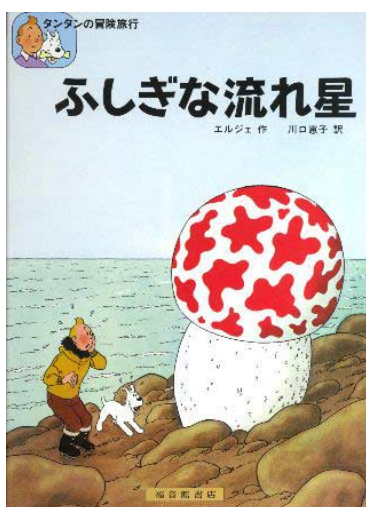
梅林さんの電子顕微鏡写真も、この本の価値を高めている。電子顕微鏡を購入し、自宅で写真を撮っているという。趣味で電子顕微鏡をいじっている人など、彼の他にはいないだろう。その意味で彼もまた、世間常識から判断すれば、相当に変な人である。

いい紙を使っているので、ページ数の割には高い（税込みで2,520円）と言う人もいるかもしれないが、これは非常に安い買い物である。

絵本にクモが登場

池田千洋

フランスの絵本作家エルジェの『タンタンの冒険旅行・ふしぎな流れ星』（福音館書店）にクモが登場します。主人公のタンタンが望遠鏡で見る隕石の表面にクモ形の模様があり、「メータ・セグメンタータ（オオドヨウグモの一種）かアラーネウス・ディアデマートゥス（ニワオニグモ）か」という言葉があります。物語の山場、隕石に含まれる金属の影響でクモが拡大する場面もあります。



入退会は：

事務局 初芝伸吾 186-0002 東京都国立市東 3-11-18-203 (有)エコシス
E-mail : hatsushiba-ecosys@h8.dion.ne.jp

通信原稿投稿先：

通信担当 谷川明男 247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷 1-4-2-1416
E-mail : dp7a-tnkw@j.asahi-net.or.jp

KISHIDAIA 原稿投稿先：

会誌担当 池田博明 258-0018 足柄上郡大井町金手 1099
E-mail : fwg9084@mb.infoweb.ne.jp

会費のことは：

会計担当：安田明雄 231-0861 横浜市中区元町 5-219 (TEL : 045-641-0763)
E-mail : kobato@gol.com
郵便振替口座 00170-8-74885 東京蜘蛛談話会

東京蜘蛛談話会 2004 年度合宿について

東京蜘蛛談話会 2004 年度合宿を以下のように山梨県増穂町櫛形山山麓と市川大門町付近で行ないます。主な観察地として赤石温泉周辺と平林地区と、市川大門周辺の丘陵地を考えています。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

日程：2004 年 7 月 24 日（土）～26 日（月）

宿泊：増穂町平林「赤石温泉」 山梨県南巨摩郡増穂町平林 3243
Tel 0556-22-5188

費用：宿泊費（1 泊 3 食付き）10000 円（現地にて徴収）

この他に 旅行保険 + 車代補助費として 2000 円ほどかかります。

交通：A．鉄道 JR 身延線市川大門駅下車。駅からのバスはありません。
送迎は市川大門駅に 14：58 または 15：08 着の電車のみ
行ないます。その時間以外に到着希望の方はタクシーをご利用
下さい。

B．自動車 中央自動車道甲府昭和インターより、県道 5 号を増穂・身延方向へ
開国橋を渡り、上今諏訪を左折、十五所を左折、国道 52 号（バイパス）を直進。
終点を右折し、県道 413 号を櫛形山（平林）方面へ直進。終点が赤石温泉。

申し込みは、6 月 30 日までに下記の申し込み書に必要事項を記入の上、新海 明
〒192-0352 八王子市大塚 274-29-603 まで郵送して下さい。
早めに申し込み下さい。

・・・・・・・・キ・・・・・・・・リ・・・・・・・・ト・・・・・・・・リ・・・・・・・・

東京蜘蛛談話会山梨合宿に以下のように参加します（×を記入して下さい）。

7 月 24 日（土）（ ） 円（ ）

25 日（日）（ ） 住所

26 日（月）（ ）

氏名

自動車で参加します（ ）